彦根市教育委員会会議録

会議の日	令和 8 年 9 月 24 日(木)
会議場所	彦根市役所本庁舎 5－1 会議室、5－2 会議室
出席委員等 5 人中 5 人出席	教育長　西嶋　良年 教育長職務代理者　田附　孝子　委　員　小松　照明 委　員　本田　啓子　委　員　永濵　隆
出席職員 (説明員)	教育部長　小島　久喜 教育部次長(教育総務課長)　清水　智子 こども家庭部次長(幼児課長)　平野　敦也 副参事(図書館長、新図書館整備推進室長)　久保田　雄介 副参事(博物館副館長)　林　善和 副参事(博物館管理課長)　都築　養子 学校教育課長　小坂　英司 学校教育課主幹　白髭　英之 学校 ICT 推進課長　野呂溪　守 学校支援・人権・いじめ対策課長　小磯　浩司 生涯学習課長　西川　真由美 生涯学習課主幹　川添　義夫 学校給食センター所長　今井　和宏 広野教育集会所長　中江　淳展
会議次第 1　開　会　午後 1 時 30 分 2　議　題　内　容　なし(報告事項および各所属の取組事項等についてのみ) 3　その他　内　容　別添のとおり 4　閉　会　午後 2 時 15 分	

1　開　会

教育長　ただ今から教育委員会会議を開会します。

本日提案している議題は、ございません。

本日の議事の進行につきましては、「教育長報告」のあと、2件の報告事項を説明させていただきます。その後、「次第4　各所属の取組事項等について」の質疑を行い、「次第5　その他」で教育委員会の所管事項について、委員からのご質問をいただきます。

本日の議事進行につきまして、ご異議はありませんか。

各委員　なし。

教育長　それでは、私から「教育長報告」をさせていただきます。

8月28日金曜日、9月の定例校長会議をWeb会議形式にて本庁にて開催し、出席をしました。その後、山形県上山市教育委員会から視察に来られましたので、対応をしました。その後、彦根市教育支援教室「オアシス」運営委員会を本庁にて開催し、出席をしました。

8月31日月曜日、8月市議会定例会が開会しましたので、出席をしました。午後から、「令和7年度生徒会長公約実現事業」報告会を開催し、出席をしました。

9月7日月曜日から10日木曜日にかけて、市議会の代表質問および個人質問が行われましたので、出席をして答弁をしました。

9月14日月曜日、予算常任委員会が開かれましたので、出席をしました。

9月15日火曜日、福祉病院教育常任委員会が開かれましたので、出席をしました。

9月18日金曜日から10月8日木曜日までの4日間、人事評価の校長前期面談をWeb面談方式で本庁にて開催しています。

本日24日木曜日、午前中、本会議にて追加議案が上程されましたので、自席にて傍聴をしました。午後からは、9月の教育委員会会議となっています。

報告は以上です。何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

各委員　なし。

2　前回会議録の承認

3　報告事項

教育長　次第3「報告事項」に入らせていただきます。

「令和８年８月市議会定例会について」報告をお願いします。

教育部次長から報告がありました。

田附職務代理者　奥野議員からの質問に対する答弁の中で、デジタルドリルを活用するとありましたが、不登校の子に対してはどうなっているのかと思いました。今日、たまたま不登校の子が家に来てまして、その子に聞いたら、ドリルをタブレットで開けようとしたらログインが上手くいかなかったので、先生に相談してやってもらったらログインできたというような話を聞きましたので、学校側も不登校の子に対応してもらっていて、安心しました。

学校 ICT 推進課長　不登校の子どもにつきましても、どの子も使えるようにアカウントの設定をしています。ログインの方法など学校にも相談してもらってわからない時には、すぐに対応できるようにしていきたいと思います。

本田委員　安澤議員がコミュニティ・スクール導入による学校運営の変化や具体的な成果例を質問されているのですが、生涯学習課の担当の方と一緒に訪問した学校のことかなと思っていました。学校運営協議会に全教員が参加して、地域学習の計画を立てているような場面です。彦根市の出身ではない教員もいるので、すごく良いことを計画して勉強してくれているなと思いました。そして、校長とか教頭だけではなくて、全教員がその地域の人と話したりする場面というのは、それだけ学校の子どもたちを一緒に育てていこうという気持ちを現場の若い先生たちも持っていて、活発な会議ですごく良かったと思いました。

それから、前に、取組みを発信していきたいと担当の方が言っていたのですが、各所属の取組事項等についての資料の最後に、コミュニティ・スクールだよりが掲載されています。これは、学校に配付しているのでしょうか、それとも、どれくらいまで発信されているのでしょうか。前に、1 階のところでパネル展示した時もありましたが、ああいうのは反応もよくわかったのですが、このお便りはどの辺まで配付されているのかと思って、そのことをお聞きしたいと思います。

生涯学習課主幹　コミュニティ・スクールだよりにつきましては、ホームページへの掲載とあわせて、各学校に C4th で送付をしています。すべての地区公民館に、このコミュニティ・スクールだよりを拡大したものを送付し、掲示してもらうようお願いをしていまして、そういった形で発信をしているところです。本田委員から話がありました、1 階ロビーでの広報期間につきましては、今年度は 10 月 15 日木曜日から 29 日木曜日まで、このコミュニティ・スクールだよりを始め、啓発物をロビーに展示をしたいと考えています。

また、全教職員が学校運営協議会に参加しているという部分ですが、この城西小学校のほか若葉小学校とか、それから、一度に全教職員が参加する形ではありませんが、東中学校や西中学校では、人数をある程度決めて参加させたり、その会議で話し合われる内容に応じた職員を参加させたりという形で、委員でない教職員の多くが関わっていけるように各学校で取組みが進んでいるところです。

本田委員　安澤議員がPTA解散時における保護者代表からの意見聴取機会確保について質問されているのですが、すでにPTAが解散している状況は、どの程度あるのでしょうか。

生涯学習課主幹　彦根市での状況は、現在2つの小学校が彦根市PTA連絡協議会に加入していません。そのうち1つの小学校は解散をしていますが、PTAという形を解散するだけで、PTAと似たような組織がまた作られています。ただし、今後はPTAについて、安澤議員からの質問の答弁のように、変化が生じるようなことも想定されると考えています。

教育長　次に、「彦根市立小学校における給食調理業務委託事業者選定に係る公募型プロポーザルの実施について」報告をお願いします。

学校給食センター所長から報告がありました。

小松委員　現在、民間委託を17校中16校で実施しているということですが、残り1校はいつ頃民間委託になって、それで全小学校が民間委託になるという理解でよいですか。

学校給食センター所長　残りの1校は若葉小学校です。現在、まだ正規職員がいますので、その職員が在籍している以上は、民間委託はまだできないということで、しばらくの間、若葉小学校は直営ということなりますが、いずれ正規職員がいなくなると民間委託を検討しなくてはいけないという状況になると思います。

4　各所属の取組事項等について

小松委員　学校教育課の(2)令和7年度「生徒会長公約実現事業」成果報告会についてですが、堀口議員からも質問があり、答弁をされています。感想としては、私も成果報告会に参加させてもらって、ものを形にするという達成感というのはすごくあったと思います。中学生からアイデアが出て、それができたというのが、ものにしても催し物にしてもそうですが、非常に良かったと思います。10万円というお金は、市が行っている事業規模からすると、大したことがなく、何もできないのではないかという実感があったのですが、やはり、中学生にと

っては 10 万円というのは大きな金額だという意識を持っていました。すべての中学校でよくやっていたという感想が 1 点目です。それと 2 点ですが、今、県の教育委員会、県立高校ではいろいろな仕掛けをしていて、アントレプレナーシップ、起業家、事業を起こす、その考え方を非常に進めています。これに対する各高校の成果発表会を年末にプロシードアリーナ HIKONE で実施して、横の交流会を行う予定ですが、高校生でもこれから社会に出て企業をどうやって起こすとか、地域と人とのつき合い方、そういうことの考え方がやはり必要ではないかということで県もやっていると思います。今回の市での取組みは、そういう県の活動と何か繋がっていきそうだと感じました。段々とレベルを上げていくには継続が大事なので、継続していく必要があるかと思います。

それと、最後に費用の件ですが、今年はふるさと納税でお金を集められたと聞いていますが、県教育委員会では、今後の費用を確保する上で、徹底して地元の企業に応援を求めています。将来の人材育成という名の下に地元企業から費用を集めて、それを原資にアントレプレナーの学びの祭典とかいろいろなものの費用に振り分けているということです。この生徒会長公約実現事業を継続していくための費用の確保、これは今後どうしていこうとするのか、非常に財政が厳しい中でそこは考えていく必要があると思います。その辺りはどう考えていますか。

学校教育課長　生徒会長公約実現事業ということで、生徒会の子どもたちが頑張って発表をしてくれました。最後に質問がありました今後の費用面ですが、今年度は当初予算という形で確保をしまして、合計 70 万円で運用を予定しています。今後につきましても、まず事業自体を何とか子どもたちの思いを形にしていきたいということから、継続を考えています。そのためにはお金が必要なってきますので、将来地元に子どもたちが戻って活動、活躍していける人材育成という観点からも地元の企業に応援を求めて、企業からの資金をお願いできるように働きかけていきたいと考えています。金額をどれぐらい集めることができるかわかりませんが、それを基金という形で集めて、今後は運用できればと現在想定をしています。

田附職務代理者　私も公約実現事業の成果報告会に対する感想になりますが、各学校が実態に応じて課題を見つけて、それに取り組んで発表するという発表の場があるというのは、すごく良かったと感じました。他校のこともわかり、アピールするにしても、生徒の持ち味を生かしていろいろな発表の仕方がありましたし、それを他校の生徒たちが見ていろいろ参考にして、また今度はこういう工夫をしようというふうに考えてくれたと思うので、この交流会は

すごく良かったと感じました。ありがとうございました。

本田委員　去年提案された時に、どのように子どもたちが発表してくれるのか、内容をまとめていくのか、と思っていましたが、先生からそれに対していろいろなアドバイスとかもあったと思いますし、今までそういう取組みは聞いたことがなかったので、これから新しいモデルになり、それが各学校にもっと広がっていくような基盤がしっかりできると良いと思いました。発表した子ども達だけではなく、学校内の他の子ども達にも浸透するように、工夫をできるだけして、子ども達がみんなの前で発表したりすることで、いろいろすることに対して興味を持ったり、感想を持ったりすることができると良いと思いました。すごく良い取組みだったと思います。

永濵委員　この生徒会長公約実現事業は、元々、前市長が提案されたもので、教育委員会から提案したものではなかったように記憶はしているのですが。前市長が始めて、現市長が今年の予算をつけて来年の予算もまたつけると、そこまでは間違いないですか。それと、子ども達にこういう場を与えることは大切だと私も思いますが、市の都合によって簡単に辞めるということがないように、大人として責任を持って継続していくシステムを市長が作り出したものだと思っています。教育委員会から提案したものとは違うと記憶していますが、それを市長が継承するのであれば、責任を持って続けていただきたいと思います。

学校教育課長　方向性については、市長の方からはこの事業については応援という形でうかがっていますので、この事業は子ども達のこれだけの頑張りを見せてくれた取組みや発表の様子でもありますことから、是非とも事業を継続して子ども達の成長につなげていきたい、大切な事業にしていきたいと考えています。

5　その他

各委員　なし。

教育長　以上で本日の会議を閉会します。

10 月の会議は、10 月 22 日木曜日、午後 1 時 30 分から本庁舎 5 階 5-1、5-2 会議室で開催します。皆さんお疲れ様でした。